

秋田県理学療法士会ニュース



第182号
2018年5月15日発行

発行：公益社団法人 秋田県理学療法士会
会長：菅原 慶勇 編集：加賀屋勇氣 印刷：株秋田情報プリント
事務局：〒010-0921 秋田市大町1丁目2-40
TEL・FAX 018-867-1804 E-mail akitapt-home@ptakita.org
ホームページ <http://www.ptakita.org>

5

2018
May Jun.

6

✓ topic

秋田県理学療法士学会近日開催！
認定理学療法士のすゝめ
専門領域研究班活動報告
研究に恋して
僕らの職場紹介します！
部長だより&会長のうごき
マイブーム



第23回秋田県理学療法士学会 近日(6月23日(土))開催!



学 会 長：初山 日出樹(写真左)
学会準備委員長：富田 浩輝(写真右)
(秋田リハビリテーション学院)

平素より、格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。また、会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。第23回秋田県理学療法士学会の準備委員長を拝命いたしました、秋田リハビリテーション学院の富田浩輝です。

本学会から、学会開催時期が6月に変更となりました。そのため、会員の皆様におかれましては、大変長らくお待たせしてしまい、誠に申し訳ありませんでした。本学会からは、新たな試みも取り入れ、秋田県理学療法士学会をさらに盛り上げていくべく、学会準備委員会一同、精一杯尽力して準備を進めさせていただいております。本学会が多くの会員の皆様の日々の臨床に役立つものになることを祈念しておりますので、是非とも日程調整のうえご参加いただけますようお願い申し上げます。

学会概要

さて、本学会では「長期予後を見据えた早期リハビリテーション」をキーワードに、3名の講師をお招きして特別講演をしていただきます。特別講演Ⅰでは、秋田大学大学院医学系研究科救急・集中治療医学講座教授の、中永士師明(なかえ はじめ)氏から、「ICUにおける早期リハビリテーションの意義」をテーマにご講演していただきます。特別講演Ⅱでは、秋田大学医学部附属病院集中治療部でご活躍されている、急性・重症患者看護専門看護師の工藤 光生(くどう こうせい)氏から、看護師の立場から集中治療領域で理学療法士に求めることを中心にご講演していただく予定です。さらに、特別講演Ⅲでは、信州大学医学部附属病院で心臓リハビリテーションを中心に集中治療領域の最前線でご活躍されている、理学療法士の山本 周平(やまもと しゅうへい)氏に、集中治療領域での理学療法士の役割と安全に理学療法を実施するためのテクニックに関してご講演いただきます。

新たな試みとお願い

本学会の新たな試みの1つとして、秋田県内で精力的に活動されている専門領域研究班の各種理学療法研究会(神経系・運動器・呼吸・循環器・老年期)の先生方から、これまでの活動報告に加えて明日から臨床に役立つ有益な情報をご紹介します。集中治療領域の早期リハビリテーションは、多領域の基本的なアセスメント能力と対応力が求められる現場です。こちらも早期リハビリテーションに関わる非常に興味深い内容になること間違いなしです。

一般演題も、多数のご応募をいただき、秋田県理学療法士学会の益々の発展が予期され、非常に嬉しく感じております。ご協力いただいております会員の皆様に、この場をおかりして深く感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

なお、本学会終了後は、総会および新人歓迎会が予定されており、翌日には新人教育プログラムが開催予定です。各施設の先生方におかれましては、新人会員の積極的な学会および新人教育プログラムの参加にもご配慮いただければ幸いです。秋田県内の様々な世代・地域の先生方が集まり、新人会員を盛大に迎え入れながら熱く理学療法に関して語り合う、秋田県理学療法士学会がそんな場所の1つになればと願いつつ、第23回秋田県理学療法士学会の開催案内とさせていただきます。

第23回秋田県理学療法士学会

【会 期】平成30年6月23日(土) 9:00～16:00(受付:8:30～)

【会 場】秋田大学大学院医学系研究科 総合研究棟第6講義室(4階)

【テーマ】「集中治療領域における早期リハビリテーション」

－ 長期予後を見据えて理学療法士にできること －

平成三十年五月
秋田県理学療法士会ニュース特集

生涯学習班著

認定理学療法士のすゝめ

平成33年4月から始まる新生涯学習制度を前に、我々が知っておくべきこと、そして認定理学療法士取得に関する重要な情報を提供いたします。

さて今回も認定理学療法士を取得すべく、確認しておくべき情報として、今年度北海道、東北、関東圏で行われる予定の**協会指定研修**の日程をお知らせします。協会指定研修は**どの認定を取得するのにも必要な共通の研修**です。今回お知らせする場所以外にも近畿、東海北陸、四国、九州などで行われるものもありますので、詳しくは協会マイページより確認をお願いします。

セミナー番号:16283 協会指定研修(東北)
開催期間:2018/7/8 申込期限:2018/6/24
開催場所:ハーネル仙台 3階 蔵王

セミナー番号:16288 協会指定研修(北海道)
開催期間:2018/8/26 申込期限:2018/8/5
開催場所:札幌医学技術福祉歯科専門学校 B棟 3階講堂

セミナー番号:16290 協会指定研修(関東)
開催期間:2018/9/9 申込期限:2018/8/26
開催場所:NTT中央研修センター 講堂

認定を取得するためには**指定研修の他に、各分野の認定必須研修を受講する必要があります**。認定必須研修の日程はマイページでご確認ください。

また現在自分がどの程度申請条件を満たしているのかをチェックしたい方は、協会ホームページ内に『認定理学療法士(新規)申請条件自己確認テスト』というものがありますので、確認してみてください。

<アクセス方法>

協会ホームページ → 生涯学習について → 認定理学療法士 → 認定理学療法士の取得について → 申請の条件 → 『認定理学療法士(新規)申請条件自己確認テスト』

テストを行った後は、『認定理学療法士(新規申請用)ポイント取得マニュアル』で確認してみてください。

文責:生涯学習班 伊藤 雄平(秋田厚生医療センター)

生涯学習に関する問い合わせ先(秋田厚生医療センターリハビリテーション科)
TEL:018-880-300 E-mail:akriha@akikumihsp.com

専門領域研究班 活動報告

編集班取材



2018.4.14

呼吸・循環器疾患に対する栄養とリハビリテーションのシンポジウム

場所：秋田大学医学部保健学科

プログラム：重症慢性閉塞性肺疾患患者の病態を考慮した入院リハビリテーションの実際

川越厚良氏（市立秋田総合病院 理学療法士）

呼吸器疾患患者に対する栄養管理と栄養療法の実際

山田公子氏（市立秋田総合病院 管理栄養士）

循環器疾患患者への栄養を意識した理学療法アプローチ ～目指せ！心不全の筋肥大～

加賀屋勇氣氏（秋田県立脳血管研究センター 理学療法士）

循環器疾患患者に対する栄養管理と栄養療法の実際

菅原みどり氏（中通総合病院 管理栄養士）

4月14日に、呼吸・循環器の研究会による初の合同研修会が開催されました。70名もの参加者が集まり、テーマである栄養に対する関心の高さがうかがえました。なんと県外から参加された先生もいらっしゃいました。講師として呼吸器理学療法研究会の川越厚良先生、循環器理学療法研究会の加賀屋勇氣先生に加え、管理栄養士の山田公子先生（市立秋田総合病院）、菅原みどり先生（中通総合病院）の2名をお招きし、近年各領域でトピックとなっているフレイル・サルコペニアに関して、栄養とリハビリのそれぞれの立場から疾患の特性、栄養管理とリハビリテーションの重要性をご講義いただきました。

川越先生は、COPDの特異性と運動負荷で考慮すべき点、栄養介入や活動性の管理に関して、国内外のエビデンスと実際の経験症例を通して話してくださいました。

山田先生は、実際に呼吸器疾患患者に対して行っている栄養評価や栄養療法の紹介、症例報告などをして下さいました。

加賀屋先生は、低栄養やフレイルの心不全患者に対する理学療法介入時の着目・注意点や工夫を中心に、活動量の確保や多職種連携の重要性について話して下さいました。

菅原先生は、食事療法のポイントや心不全患者に対する栄養療法の重要性、考え方、進め方、NSTの取り組みを、実際の患者さんとのやり取りも踏まえて話して下さいました。

今回の講演内容に関して、加賀屋先生は、「川越先生も私も、ともに取り上げた論文がひとつありました。特に示し合わせたわけではありません。それが昨年末にJournal of Strength & Conditioning Researchという雑誌に掲載された、strength and hypertrophy adaptations between low-versus high-load resistance trainingというシステマティックレビューです。筋肥大を導くためには、1RMの60%以上の負荷をかけるというオーバーロードの原則が、まさしく大原則として学生の頃から私たちの頭に染みついています。しかし、これが心不全やCOPDのような疾患を有する高齢者、まして筋肥大を目指したい筋萎縮の進んだ患者には、なかなかリアリティーのある負荷設定として考え難いわけです。ところがこのレビューでは、より低強度であっても、筋疲労が生じるまで反復することで、高強度と同等の筋肥大効果が得られることが報告されました。



非常に多くの方にご参加いただき、会場は満席となりました。



シンポジウムにて呼吸器理学療法研究会の川越先生（左）と循環器理学療法研究会の加賀屋先生（右）今回合同研究会の新たな試みとして行われたシンポジウム形式のディスカッションではフロアも交えて活発な意見交換が行われました。



シンポジウムにて

管理栄養士の山田先生（左）と菅原先生（右）疾患管理のための栄養指導と、低栄養回復のための栄養療法という二方面に対する戦略についてそれぞれの領域から話してくださいました。



フロアーディスカッションの様子。活発な意見が交換されました。

この結果は、介入期間など実臨床で完全に再現するには難しい点もありますが、muscle wastingを呈する患者への理学療法に、新たな可能性を示すものだと思います。ただし同時に、我々が提供する一日数単位の介入時間だけでは、期待するほどの筋肥大効果が得られないことも、証明されたこととなります。自分たちの介入時間だけでなく、生活全体の中にトレーニングを組み込んでいく働きかけを理学療法士が中心になってどう作っていけるか、これが今後の課題になると感じています」とおっしゃっていました。

さらに今回は、4名の先生方がシンポジストとして登壇され、フロアーとのディスカッションが行われました。NSTとの関わりや、負荷設定、低栄養の病態解釈に関して、活発な議論が交わされ、普段接する機会が少ない他病院や他職種の方とも意見交換が行える貴重な機会となりました。

全体を通して、全身状態に合わせた運動負荷を考慮すること、患者さん一人ひとりに合わせた栄養指導を行うこと、日々の変化を追って活動量や食事の量を適宜調整していくことが大切だと感じました。また、呼吸器疾患や循環器疾患では高齢のケースが多く、低栄養状態になると、さらにサルコペニアやフレイル、カヘキシアへと進行しやすくなりますが、その悪循環を断つためには、運動と栄養管理が適切に行われるように多職種で協働していくことが重要だと学びました。

呼吸理学療法研究会の川越先生は、今回の研究会を終えて、「多くの方にご出席頂き、栄養に関する注目度の高さが伺えました。今後も我々が取り組む必要のある様々な領域をテーマとして情報共有できる場を設定していきたいと思います」と今後の活動について抱負を話してくださいました。今回、残念ながら参加出来なかった先生方も、次回また機会があればぜひ参加して頂きたいと思えるような研修会でした。今後の研究会の活動にますます期待が膨らみます。

（文責：竹内ひなた、佐々木杏奈）

循環器理学療法研究会よりお知らせ

当会では、毎月（原則第2水曜）に、Research Conference を開催しております。それぞれが自分の進めている研究や症例検討を持ち合い、真剣に議論しております。見学だけの参加でも構いません。研究をしたいけど、どうしたらいいかわからないという方の参加もお待ちしております。興味のある方はご一報ください。

循環器理学療法研究会→→ akita.circ.pt@gmail.com（こちらまでご連絡ください）

さらに、6月には秋田学会の翌日（24日）に、信州大学医学部附属病院リハビリテーション部の山本周平先生に、「循環器理学療法における、急性期のリスク管理・フィジカルアセスメント、介入の実際と安定期患者に対する理学療法のエビデンス」をタイトルとして特別講演をしていただきます。詳細は「部長だより」をご覧ください。

神経系理学療法研究会よりお知らせ

今年度最初の神経系理学療法研究会を開催いたします。今回は研修会として、「臨床に活かす脳画像のみかた」と「脳卒中ガイドラインにみる最新の知見」をテーマに講義します。奮ってご参加ください。

研修会の詳細については、「部長だより」をご覧ください。

神経系理学療法研究会についての質問・ご意見等は akita.neuro.pt@gmail.com までお願いします。

研究に恋して



今月の *Scientist PT*

伊東 一章 (秋田赤十字病院)

昨日の自分を超えて生きたい

私の思う臨床研究は、患者さんからもらう気づきと自身から発する疑問への解明といえるかもしれない。臨床で働いていると、毎日のように疑問がわいてくる。空いた時間をみつけては同僚に疑問を投げかけ、口癖のように決まって、「おもしろい」ともらしてしまふ。帰ってから調べずにはいられなくなってきて、時間が過ぎることを忘れてしまふ。読みたい論文を見つけて、大好きな珈琲を飲みながら、読み込むのが最高に楽しい。どんなに小さなことでも昨日の自分を少しでも超えることができたなら、それは尊いことだと思う。1年前や1週間前ではダメなのだ、昨日の自分でなければ。これは実はとても大変なことだが、その気持ちを忘れることなく13年間、自分の中に理学療法を積んできた。

私が研究を教わった恩師は、山形県立保健医療大学大学院の元教授である内田勝雄先生である。大学時代も卒業研究を担当して頂いたが、修士課程でも大変お世話になった。内田先生は研究者として奥深く素晴らしいだけでなく、その人柄からも皆に尊敬されていた。

運動生理学と呼吸生理学に興味があった私は、再呼吸中の呼吸交換比の解析による肺胞気CO₂分圧の推定という研究を行った。肺胞気CO₂分圧は肺のガス交換を評価する最も基本的な指標のひとつであるが、直接測定することは困難である。そこで、下記の実験から肺胞気CO₂分圧が推定できないか検証した。対象は20歳代の健常男性19名で安静時およびトレッドミル運動時に再呼吸（閉鎖系呼吸）と定常呼吸（開放系呼吸）の2実験を順序ランダムで行った。負荷設定を、傾斜0度、速度5.0、7.5、10.0 km/hとし、5分間の運動を行い、再呼吸バッグ内O₂、CO₂濃度から呼吸交換比を算出し、RER-PCO₂の回帰直線を求めた。安静時および2段階以上の強度での運動時に再呼吸を行うことで得られるRER-PCO₂プロットの3本の回帰直線の交点PCO₂に有意差がなく、その値

が1回換気量で補正したPJCO₂と有意差がなかったことから、肺胞気CO₂分圧が推定できるという仮説を検証することができた。

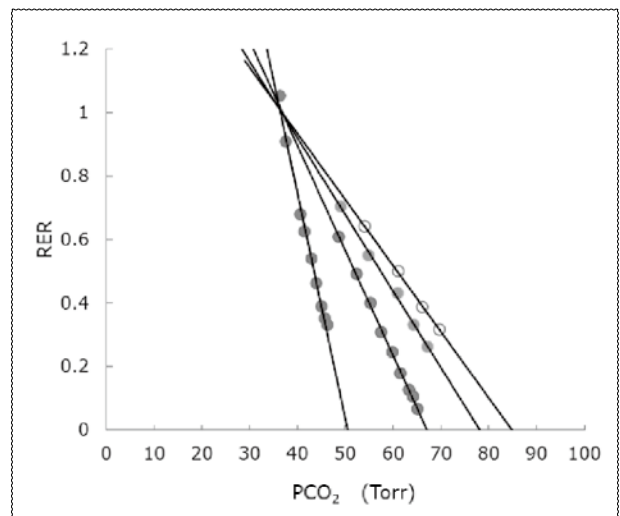


図 再呼吸中のRER-PCO₂プロット例

最近の研究課題は、集中治療領域における早期離床と早期リハの開始基準、ICUにおける多職種チーム連携と共通言語となる評価スケール使用の実際、人工呼吸器装着重症患者におけるICU-AWと集中治療後症候群（PICS）、NMESや超音波画像評価などである。秋田県の集中治療理学療法を一步前に発展させていくために、昨日の自分を超えて生きたい。

-PROFILE-



伊東 一章 先生

山形県立保健医療大学を卒業。宮城中央病院を経て大学院修士課程を卒業し、秋田赤十字病院に勤務。所属は日本集中治療医学会、日本呼吸療法医学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会。

ぼくらの職場 紹介します!!

-Introduction of our team-

いつも転院申し送りしているけど、知っているようで知らないあの病院、あのリハ科… どんな理学療法士がどんなことしてるの?? そんな疑問に答えるべく、自分たちの病院・チームを紹介していくコーナーです!



第17回は「能代山本医師会病院」です!

それでは能代山本医師会病院のみなさん! ご紹介をお願いします!

—はい! **大貫周梧** が当院について紹介させていただきます!

〈私たちが働く病院は…〉

当院は昭和59年に開設、平成26年には既存施設の改修および増設が行われました。病床数は一般病床165床、療養病床35床の計200床となっています。「患者さん本位の質の高い医療を提供し、患者さんの信頼に応える」ことを基本理念とし、地域に根ざした医療を行うことができるよう日々業務に取り組んでいます。

〈リハビリ対象疾患は…〉

脳血管疾患、整形外科疾患、呼吸器疾患、がんなど様々な疾患を対象にリハビリテーションを行っています。

〈理学療法士の人数は…〉

理学療法士3名、作業療法士4名の計7名です。

〈私たちの病院のここが“ウリ”です!〉

- リハビリテーション科スタッフ全員が、がんのリハビリテーション研修課程を修了しています。緩和ケアサポートチームも有し、多職種でカンファレンスを行い、身体面・精神面を含めた包括的な治療・ケアの提供に努めています。また、がんについてのサロンも定期的で開催され、患者さんやそのご家族に対し、がんに関する情報の共有や、当院での治療に関しての周知を行っています。
- 糖尿病サポートチームを有し、対象の患者さんに対して多職種の様々な視点からアプローチを図っています。2016年11月に開催された東北学会では糖尿病治療における当院での取り組みについてポスターにて発表を行いました。また、食事・運動・投薬などについて病院スタッフとともに勉強する場として糖尿病教室が定期的に開かれています。
- 年に一度、院内で軽音楽同好会の有志によるコンサートが開かれています。リハビリテーション科のスタッフも参加し、患者・家族の方と一緒に楽しい時間を過ごしています。



(病院紹介者: 大貫周梧)

部長だより

研修部

●生涯学習班

平成30年度新人教育プログラムについて

① 第1回新人教育プログラム研修会

期日：平成30年6月24日（日）

会場：秋田大学医学部保健学科 総1講

内容：10：30～ 受付

11：00～11：10 オリエンテーション

11：10～12：10 <必須研修>A-2 「協会組織と生涯学習システム」

菅原 慶勇 氏（市立秋田総合病院）

12：10～13：00 昼休憩

13：00～14：00 <必須研修>A-1 「理学療法と倫理」

畠山 和利 氏（秋田大学医学部附属病院）

14：10～15：10 <理学療法の専門性>D-2 「生涯学習と理学療法の専門領域」

伊藤 雄平 氏（秋田厚生医療センター）

15：20～16：20 <必須研修> 「理学療法における関連法規」

須藤 恵理子 氏（秋田県立リハビリテーション・精神医療センター）

② 今年度の新人教育プログラム年間予定

	第1回(6/24)	第2回(8/4)	第3回(10/6)	第4回(12/8)	第5回(1/19)
北部		A-3 「リスクマネジメント」 B-2 「クリニカルリーズニング」 B-1 「一次救命処置と基本処置」 E-2 「コーチングとティーチング」	A-4 「人間関係および接遇」 B-4 「症例報告・発表の仕方」 D-3 「理学療法の研究方法論」		
中央	A-2 「協会組織と生涯学習システム」 A-1 「理学療法と倫理」 D-2 「生涯学習と理学療法の専門領域」 A-5 「理学療法における関連法規」			A-3 「リスクマネジメント」 B-2 「クリニカルリーズニング」 B-1 「一次救命処置と基本処置」 E-2 「コーチングとティーチング」	A-4 「人間関係および接遇」 B-4 「症例報告・発表の仕方」 D-3 「理学療法の研究方法論」

第1回は全ブロック合同で中央開催ですのでご注意ください。

二回目以降は、開催場所が北部と中央になります。どのブロック会場に参加しても構いません。

今後追加で開催場所、時間、講師のご案内を差し上げます。

テーマ群C以外の履修必要単位がとれます。

③ 新人教育プログラムのeラーニングによる受講について

今年度も新人教育プログラムがeラーニングで受講できます。ご自宅や職場のPCから受講が出来ますので、未終了会員の方はご活用ください。

セミナーID	コンテンツ名	内容	受講費	申込期間	視聴期間	備考
16412	新人教育プログラム ※入会1～3年目の方	理学療法の基礎 (B-1～B-4) 理学療法の専門性 (D-1～D-4) 理学療法における人材の育成 (E-1～E-3) 合計 11 テーマ	¥5,400 (11 テーマ 視聴可能)	2018年9月3日(月) ～2019年1月31日(木)	～2019年2月28日(木)	新人教育プログラムの単位が取得できます。修了に必要なテーマのみの受講で構いません。動画の最後にある自己診断テストを終了したテーマにおいては、そのテーマの履修単位が付与されます。
16413	新人教育プログラム ※入会4年目以降の方	必須初期研修 (A-1～A-5) 理学療法の基礎 (B-1～B-4) 理学療法の専門性 (D-1～D-4) 理学療法における人材の育成 (E-1～E-3) 合計 16 テーマ	¥8,640 (16 テーマ 視聴可能)	2018年4月2日(月)～ 2019年1月31日(木)	～2019年2月28日(木)	

※1～3年目の会員と4年目以降の会員で受講可能なプログラムが異なります。

詳細は協会HP（2018年度e-ラーニングについて）をご覧ください。

<アクセス方法>

協会HP→新人教育プログラム→e-ラーニングはこちら→2018年度e-ラーニングについて

① 新人教育プログラム臨床見学について

日本理学療法士協会が認定する臨床見学受入施設で見学を行うことで、理学療法の臨床（C-1～C-5）について単位が認定されます。臨床見学制度および受入施設については協会HP（臨床見学を希望される方）をご覧ください。

<アクセス方法>

協会HP→新人教育プログラム→見学を希望される方はこちら

新人教育プログラムに関するお問合せ先：生涯学習班 伊藤 雄平
秋田厚生医療センター リハビリテーション科
〒011-0948 秋田市飯島西袋1丁目1番1号
TEL 018-880-3000（内線2159）
E-mail:akriha@akikumihsp.com

●北部ブロック活動部

テーマ：「地域・在宅における呼吸リハビリテーション」

講師：中田隆文（マリオス小林内科クリニック リハビリテーション科 科長）

略歴～内部障害理学療法専門分野専門理学療法士

生活環境支援理学療法専門分野専門理学療法士

呼吸理学療法講座（理学療法講習会）代表

日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 代議員 など

期 日：8月18日（土）

受 付：8月18日 9：30～

開 始：8月18日 10：00～17：00ぐらいまで

場 所：大館市立総合病院 第1会議室（大館市豊町3-1）

内 容：講義

対 象：秋田県理学療法士会員 その他

参加費：会員：3000円 非会員：6000円

定 員：40人程度（申し込み多数の場合は先着順とさせていただきますので、ご了承下さい）

備 考

①日本理学療法士協会会員症をお持ちの方は、当日受け付けにて使用しますので必ず持参下さい。

(9)

- ②新人プログラム、専門（内部障害・生活環境支援）、認定理学療法士（呼吸器、生活環境支援）分野の履修ポイントの対象となります。
- ③病院の敷地内に駐車場はありますが、有料となっておりますのでご了承ください。
- ④準備の都合上、締切は8月4日（土）までとさせていただきます。

お問い合わせ・申込み先

（氏名、所属、連絡先、会員番号、経験年数を記入し、メールにてお申し込み下さい）
大館市立総合病院リハビリテーション科 柏木智一
アドレス：reha@odate-hp.odate.akita.jp

●北部ブロック活動部

第1回中央ブロック講習会（理学療法講習会）

テーマと同様の著書を執筆された浅野昭裕氏に、受傷起点を元に損傷組織を把握し、運動療法にどのような影響を及ぼしているかをX線から読み取る方法をわかりやすく解説頂きます。会員外であっても興味のある方がいらしたら、是非お声がけください。なお会員は、参加の際に会員証をご持参ください。

1. 日 時：平成30年7月28日（土曜日）14：00～18：30
2. テーマ：運動療法に役立つ単純X線画像の読み方
3. 講 師：中部学院大学 看護リハビリテーション学部 理学療法学科
教授 浅野昭裕氏
4. 会 場：秋田大学医学部保健学科
5. 対 象：秋田県理学療法士会会員、医療従事者、他
6. 参加費：3,000円（非会員6,000円）
7. 申込み方法：E-mailでお申し込み下さい。
8. 必要事項：氏名、所属、会員番号、連絡先

※参加人数には限りがございますので、お早めにお申し込みください。

※携帯のアドレスからお申し込みの場合、PCメールからの受信拒否設定を解除してからお申し込みください。

お問合せ先 秋田大学医学部附属病院リハビリテーション部 渡邊基起
E-mail：akitapt.kensyuu@gmail.com

●中央ブロック研修班

秋田県神経系理学療法研究会 研修会のご案内

日 時：平成30年7月13日（金）19：00～20：30（受付18：30～）
会 場：秋田県立脳血管研究センター 講堂
内 容：プログラム1：臨床で活かす脳画像のみかた
プログラム2：脳卒中ガイドラインにみる最新の知見
（臨床での評価指標の活用方法の実際）

※参加費：無料

※出席される方は、7月10日（火）までに下記連絡先まで参加申し込みをお願いします。

申し込み先：akita.neuro.pt@gmail.com（中通りリハビリテーション病院 福原隆志）

秋田県循環器理学療法研究会特別講演開催のご案内

日 時：平成30年6月24日（日曜日）9：00～10：30

会 場：秋田大学医学部保健学科棟1階第1講義室

内 容：「循環器理学療法における、急性期のリスク管理・フィジカルアセスメント、介入の実際と安定期患者に対する理学療法のエビデンス」

山本周平氏（信州大学医学部附属病院リハビリテーション部）

*参加費：無料

*出席される方は6月15日（金）までに下記E-mailまで参加の申し込みをお願いします。

お申し込み・お問い合わせ先：秋田リハビリテーション学院 山崎貞一郎

〒010-0065秋田市茨島一丁目4番80号

TEL：018-865-0188 FAX：018-864-6137

E-mail akita.circ.pt@gmail.com

会長のうごき

3月

3月7日(水) 秋田県高齢者対策協議会高齢者介護部会参加（秋田市）

3月9日(金) 秋田県医療審議会参加（秋田市）

3月10日(土)～11日(日) 秋田呼吸リハビリテーション懇話会ベーシックコース研修会講師（秋田市）

3月13日(火) 三役会議（秋田市）

3月14日(水) 秋田県リハビリテーション専門職協議会参加（秋田市）

3月16日(金) 秋田大学医学部保健学科理学療法専攻謝恩会参加（秋田市）

3月20日(火) 秋田市在宅医療介護連携協議会参加（秋田市）

3月22日(木) 秋田大学医学部保健学科、大学院医学系研究科学学位授与式参加（秋田市）

3月24日(土) 診療報酬介護報酬改定サテライト研修会参加（秋田市）

3月26日(月) 潟上市障害者総合支援法に関する審査会参加（潟上市）

4月

4月5日(木) 秋田リハビリテーション学院入学式参加（秋田市）

4月7日(土)～8日(日) 日本理学療法士協会拡大組織運営協議会参加（東京）

4月14日(土) 東北ブロック協議会理事会参加（盛岡市）

4月15日(日) 小川克己議員他と語る政策懇話会参加（秋田市）

4月18日(水) 秋田人権擁護委員協議会研修会講師（秋田市）

4月25日(水) 秋田県理学療法士会平成30年度第1回理事会参加（秋田市）

4月28日(土) 秋田県ロジスティック研修会参加（秋田市）



Photo by Okura

マイブーム

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

久保田 光雲 先生

秋田大学の照井先生からバトンを頂き、マイブームを書くこととなりました久保田光雲と申します。早速ですが私のマイブームについて、二十歳からの遅咲きファンになります。実はディズニーが好きなんです。ディズニー初心者だった頃の私は、白馬の王子様が迎えに来るといふ展開にあまり感情移入できず敬遠している節がありました。そんな時たまたま誘われた劇団四季で観た「美女と野獣」、その歌とストーリーに心を奪われ、ディズニー全体への興味が広がりました。その後はアラジンやヘラクレス、ウォーリーなど男性キャラクターに焦点を当てた映画から観始め、ディズニーと触れ合う機会が増えることで、いつの間にかほぼ全作品を網羅しTDL、劇団四季、ディズニー・オン・クラシックなどに行くことが旅行の楽しみとなりました。

今回はそんな私が好きなディズニー映画ベスト3を紹介していきます。

第3位：「美女と野獣」

王道のラブストーリー。去年エマ・ワトソン主演の実写化も話題になりました。野獣とベルのダンスシーンはまさに鳥肌モノです。

第2位：「シュガーラッシュ」

ディズニーの遊び心がふんだんに盛り込まれた作品。ディズニー作品の中では一番伏線の回収の仕方にしびれるものがある作品です。主人公ラルフとヴァネロペの友情に目頭が熱くなります。

ここで第1位の前にぜひ見てほしい映画として「ウォーリー」を紹介します。主人公の

セリフがほとんどない全体的に静かな映画で好みは分かれるかと思いますが、ロボットたちの全体的な仕草の可愛さと、ストーリーに込められた強いメッセージ性とのギャップに、観終わった後ハッとさせられること間違いなしです。

第1位：「塔の上のラプンツェル」

ランタンのシーンが有名なこの映画ですが、私個人としてはそのランタンが飛ぶ直前までのシーンが一押しです。歌詞のない2分半の音楽の中で、主人公同士の心の距離の縮まりや王国の華やかさ、そしてエンディングに至る重要な伏線が隠された名シーンは必見です。なれるものならフリン・ライダーになりたい。

男がディズニー？と初めの頃はよく思ったものでしたが、今にしてみればすごく狭い視野だったなと思います。目を凝らしてみれば世の中にはディズニー作品が溢れており、ディズニーに触れることでミュージカルやクラシックなど新しい分野の趣味を開拓することができました。心を豊かにしてくれたディズニーとの出会いは人生の一つの転機だったのかもしれない。今回の紹介を通し、もともとディズニーが好きの方もそうでない方も、少しでも共感が得られれば嬉しいです。

今回は私の大学同期であります、森岳温泉病院の加藤駿太郎くんをお願いしたいと思います。加藤くんのマイブーム楽しみにしています。



WDWにて本場のラプンツェルとの2ショット

ニュース編集班より

ニュース編集班班長の加賀屋です。今年度は（前号につづき）季節に沿った写真を表紙に掲載していきたいと思ひます。素敵な写真を撮った方はぜひご一報ください（ちなみに今月表紙の紫陽花は編集長の加賀屋が撮影したものです）。

次回ニュースの原稿締め切りは6月22日（金）です。載せたいニュース、写真などありましたら、ニュース編集班までお寄せください。

「マイブーム」を依頼された森岳温泉病院の加藤駿太郎先生も、この期日までにご自身の写真つきの原稿を送付して下さるようお願いいたします。（1,000～1,500字程度）

連絡・送付先：akita.ptnews@gmail.com

問い合わせ先：秋田県立脳血管研究センター 機能訓練部 加賀屋勇気

Tel：018-833-0115 Fax：018-833-2104 E-mail：kagaya-yuki@akita-hos.or.jp

学校法人 コア学園
厚生労働大臣指定・秋田県知事認可校

秋田リハビリテーション学院

平成27年4月開校
秋田県初！
理学療法士養成専門学校

理学療法学科
4年課程
40名定員



〒010-0065 秋田市茨島一丁目4-80
TEL 018-865-0188 FAX 018-864-6137 URL <http://www.core-akita.ac.jp/arc/>

●応援します！医療と福祉を確かな技術で

有限会社 共栄メディカル

●総合医療機器 ●理化学器械 ●福祉用具レンタル ●介護用品 ●厨房設備機械 ●業務用洗濯機械

〒014-0102 秋田県大仙市四ッ屋字水木田33
〒010-0964 秋田市八橋鯉沼1-35 サニーハイツ102

TEL 0187-66-2123 (代)
FAX 0187-66-2139
☎ 0120-971-294

信頼の医療機器

株式会社 秋田医科器械店

代表取締役 佐藤 俊介

本社 〒010-1423 秋田市仁井田字中谷地30-2
Tel.018-839-3551(代) Fax.018-839-3546
本荘営業所 〒013-0064 横手市赤坂字大道向2-4
Tel.0182-32-8311(代) Fax.0182-32-8313
能代営業所 〒016-0014 能代市落合字上釜谷地189番
Tel.0185-52-0024(代) Fax.0185-54-7319

生体現象測定装置・FES（機能的電気刺激）
リハビリテーション機器 販売

有限会社 バイオテック

代表取締役 飯塚 清美

〒010-0041 秋田市広面字碓80-1
TEL 018-837-0161
FAX 018-837-0162

高度管理医療機器販売業 第04-000026号

有限会社 秋田ブレース

義肢 装具 コルセット 車椅子各種杖

〒019-2621
秋田県秋田市河辺諸井字野田96-5
TEL/FAX 018-882-2116

TEIJIN

患者さんの
Quality of Lifeの向上が
テイジンの理念です。



帝人ファーマ株式会社 帝人在宅医療株式会社
〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号
PAD (XX) NAC (TB) 1201

(社)日本義肢協会
登録・東北119号

厚生労働省指定工場

義肢・装具・コルセット・車椅子・各種杖

株式会社 佐々木義肢製作所

代表取締役 佐々木 和憲

本社 〒980-0801 仙台市青葉区木町通二丁目3-3(木町通小学校前)
TEL (022) 274-1181(代) FAX (022) 274-1183
支店 〒010-0973 秋田市八橋本町二丁目7-1
TEL (018) 862-7204(代) FAX (018) 862-9347
〒036-8227 弘前市大字桔梗野二丁目16-12
TEL (0172) 33-1150(代) FAX (0172) 33-1153

厚生労働省指定工場

社団法人日本義肢協会登録・東北101号

(株)千秋義肢製作所

代表取締役 佐々木 雅伸

義手・義足・装具・車椅子・リハビリ用品

秋田市新屋豊町1-22

TEL 018-823-3380 FAX 018-862-5126